

## 船室について

- 全室シャワー・トイレ・冷蔵庫完備です。
- 船室は、上段ベッド付となる場合がございます。指定はお受けできません。
- A1、A2、A3、A4、Bクラスのお一人様利用は、ご旅行代金の200%となります。D1、D2は180%です。
- A1、A2、A3、A4、B、D1クラスは、洗浄機能付きトイレを完備しています。
- C1、G、I、Mクラスの1室申し込みでは、洗浄機能付きトイレのオプション申込が可能です（有料）。
- A1、A2、A3、A4、Bクラスのフナは、ソファベッドとしてもご利用いただけます。
- A1、A2、A3、A4のフナは船室指定が可能です（船室指定後に旅行契約を解除なさる場合、船室指定取消料として旅行代金の5%をお申し受けます。ただし、90日前以降は旅行条件記載の取消料に準じます）。
- お得な年齢割引もご利用ください/大人1名につき未就学児1名無料。（詳しくは弊社までお問い合わせください）
- 相部屋申し込みのお客様はシャワー、トイレ、ロッカーなどの設備は同室者で共有です。
- セミシングルタイプ、フレンドリータイプは、客室内をカーテンで区切り、プライベート空間を提供するコンパートメントタイプです。
- 旅行開始時13歳未満（中学生を除く）のお子様連れでの相部屋申し込みはお受けできません。
- フレンドリータイプの船室は、2段ベッドの下段指定が可能です（有料）。ベッド下のスペースは同室者で共有です。

## ビザ（査証）取得について

- クルーズに必要なビザ（査証）は、弊社にて取得手続きの代行をいたします。
- 参加いただくオプショナルツアーによっては、ビザ取得の為の追加代金や追加書類をご提出いただく場合があります。
- 本パンフレット記載のビザ取得代金は日本国籍の方の代金です。日本国籍以外の方もお気軽にお問い合わせください。
- 米国入国には、ESTA認証（米国電子渡航認証システム）の事前取得が義務づけられています。（有料：21米ドル）
- シンガポール協定により、ご出発前のシェンゲン加盟国への旅行日数によって、当クルーズにご参加いただけない場合がございます。
- 2025年より欧州渡航情報認証制度（ETIAS）の導入が予定されています。
- 英国入国には、ETA（電子渡航認証）の事前取得が義務づけられています。（有料10英ポンド）

## 海外旅行保険への加入が必須です

ご旅行中に疾病や事故などの事態に遭遇し、思いもよらない高額な治療費用や救護者費用などが発生した場合、法律上これらの費用は全てお客様個人のご負担となります。このような事態に備えるため、旅行期間のすべてがカバーされた海外旅行保険へ必ずご加入ください。海外旅行保険に加入されない場合、本旅行への参加をお断りする場合がございますので、予めご了承ください。

## 旅行変更費用補償特約の同時加入をおすすめします

クルーズの取消料はご出発の90日前から発生しますので、ご自身はもとより、ご家族・ご親戚の病氣・事故などでご旅行をキャンセルしなければならない場合に備えて「旅行変更費用補償特約」に加入することをおすすめします。

## 海外安全情報

外務省の治安に関する海外安全情報より下記の注意危険情報が発出されておりますが、現地手配会社、関係省庁、船舶代理店などから最新情報を得て、当社が安全と確認しましたので本旅行をを行います。

「レベル1」：十分注意してください  
コーチン、サファガ、ポートサイド、チュニス、クリスタル、カヤオ

尚、現地の治安および感染症など海外の安全に関する情報は、お客様自身でも確認していただきますようお願いいたします。

## 旅行代金一覧（単位：円）

| 船室クラス         |        | バルコニー/窓 | フロア | ベア<br>(2人部屋) | 相部屋可 | シングル<br>(1人部屋) | セミシングル<br>(2人相部屋) | フレンドリー<br>(3～4人相部屋) |
|---------------|--------|---------|-----|--------------|------|----------------|-------------------|---------------------|
| オーナーズスイート     | バルコニー付 | 9-10    | A1  | 8,660,000    | —    | —              | —                 | —                   |
|               |        | 8       | A2  | 8,160,000    | —    | —              | —                 | —                   |
|               |        | 9-10    | A3  | 7,660,000    | —    | —              | —                 | —                   |
|               |        | 8       | A4  | 7,160,000    | —    | —              | —                 | —                   |
|               |        | 10      | B   | 6,580,000    | —    | —              | —                 | —                   |
| ジュニアスイート      | バルコニー  | 10-12   | C1  | 4,180,000    | ○    | I              | 7,524,000         | —                   |
|               |        | 9       | C2  | 3,980,000    | ○    | J              | 7,164,000         | —                   |
|               |        | 9-11    | D1  | 3,380,000    | ○    | —              | —                 | —                   |
|               |        | 8       | D2  | 3,280,000    | ○    | —              | —                 | —                   |
|               |        | 8       | E   | 2,980,000    | ○    | K              | 5,364,000         | E2 3,080,000        |
| アウトサイドI       | 窓あり    | 5-6     | F   | 2,820,000    | ○    | L              | 5,076,000         | F2 2,920,000        |
|               |        | 8-11    | G   | 2,450,000    | ○    | M              | 4,410,000         | G2 2,550,000        |
|               |        | 5-6     | H   | 1,980,000    | ○    | N              | 3,564,000         | H2 2,080,000        |
| アウトサイドII      | 窓なし    | 5-6     | F   | 2,820,000    | ○    | L              | 5,076,000         | F2 2,920,000        |
|               |        | 8-11    | G   | 2,450,000    | ○    | M              | 4,410,000         | G2 2,550,000        |
| スタンダードインサイドI  | 窓あり    | 5-6     | H   | 1,980,000    | ○    | N              | 3,564,000         | H2 2,080,000        |
|               |        | 8-11    | G   | 2,450,000    | ○    | M              | 4,410,000         | G2 2,550,000        |
| スタンダードインサイドII | 窓なし    | 5-6     | H   | 1,980,000    | ○    | N              | 3,564,000         | H2 2,080,000        |
|               |        | 8-11    | G   | 2,450,000    | ○    | M              | 4,410,000         | G2 2,550,000        |

## 旅行企画・実施 株式会社ジャパングレイス（観光庁長官登録旅行業 第617号）

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-32-13  
www.japangrace.com

一般社団法人日本旅行業協会正会員 旅行業公正取引協議会会員

|                                  |                                 |                                |                               |
|----------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|
| 振込口座<br>口座名義はいずれも<br>（株）ジャパングレイス | 三菱UFJ銀行<br>高田馬場支店<br>普通 1211859 | 三井住友銀行<br>高田馬場支店<br>普通 9103064 | みずほ銀行<br>高田馬場支店<br>普通 1991082 |
|----------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|

Coordinated by ピースポート 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-13-1-B1  
TEL：03-3363-7561 / FAX：03-3363-7562 www.peaceboat.org

● PHOTO：PEACEBOAT、磯員光輝、奥平啓太、片岡和志、鈴木省一、中筋浩一、中村充利、水本俊也、桃井和房、浅木志保、Jose Maria、Stacy Hughes、Adobe Stock、shutterstock.com、sarawut / Getty Images、ソーワグッド株式会社



【プライバシーポリシー】  
株式会社ジャパングレイスでは、お客様からご提供いただく個人情報の取扱いについて、ウェブサイトにてご案内しております。  
https://www.pbcruise.jp/privacy/

## 旅行条件（要旨）－詳しく旅行条件書をお渡しいたしますので、内容をご確認のうえお申し込みください－

本旅行条件書は、旅行業法第12条の4に定める取引条件説明書面および同法第12条の5に定める契約書面の一部となります。

### 1. 募集型企画旅行契約

本旅行はNGOピースポートがコーディネートし、株式会社ジャパングレイス（以下「当社」といいます）が企画・実施する旅行です。本旅行に参加されるお客様は、当社と募集型企画旅行契約（以下「旅行契約」といいます）を締結することとなります。

### 2. 旅行のお申し込み

当社所定の旅行申込書に所定の事項を記入のうえ、申込金として旅行代金の5%にあたる金額（別添参照）を添付お申し込みください。当社が申込金の受領確認が出来た時点で正式なお申し込みとなります。

### 3. 旅行代金に含まれるもの

①旅行日程に明記した船舶の運賃 ②船内宿泊（ご請求書に記載された船室クラス）、船内イベント（一部有料あり）の代金 ③明示した食事回数分の料金 ④船舶による手荷物運搬料金 ⑤添乗員の同行費

### 4. 旅行代金に含まれないもの（上記3項のほかは旅行代金に含まれません。その一部を以下に明示いたします。）

①オプションツアーの代金 ②船室クラス変更による追加代金 ③渡航手続費用（ビザ代・渡航手続代行手数料・予防接種料金等） ④船内のチップ ⑤ポートチャージ（港湾施設使用料等） ⑥国際観光旅客税 ⑦海外旅行保険料、電話代、飲み物代などの個人的費用 ⑧超過手荷物料金 ⑨ご自宅から発着地までの交通費・宿泊費・手荷物運搬費 ⑩船舶のフューエル（燃油）サーチャージ

### 5. 旅行代金のお支払い

①旅行開始日の前日から起算してさかのぼって60日に当たる日以降の当社の定める日までに申込金を除いた旅行代金及び諸費用等をお支払いください。②お申込金は使用船舶の貸切代金の一部に使用いたします。

### 6. 特別補償

当社にお客様が企画旅行中に、急激かつ偶然な外来の事故により被られた一定の損害についてあらかじめ定める額の補償金および見舞金を支払います。

### 7. 取消料

お客様は次に定める取消料をお支払いいただくことにより、いつでも旅行契約を解除することができます。

|                          | 取消日               | 取消料       |
|--------------------------|-------------------|-----------|
| 旅行開始日の前日から<br>起算してさかのぼって | 91日前まで            | 無料        |
|                          | 90日前以降61日前まで      | 旅行代金の5%   |
|                          | 60日前以降31日前まで      | 旅行代金の10%  |
|                          | 30日前以降21日前まで      | 旅行代金の20%  |
|                          | 20日前以降3日前まで       | 旅行代金の30%  |
|                          | 2日前（前々日）以降旅行開始日まで | 旅行代金の50%  |
|                          | 旅行開始後または無連絡不参加    | 旅行代金の100% |

本旅行の使用客船は貸切船舶によるものであり、いかなる理由であれ、旅行開始後の船舶に係る旅行代金の払い戻しはありません。

### 8. その他

①クルーズにご参加の場合は、海外旅行保険にご加入されることを必須いたします。②旅行条件に定めない事項は当社旅行業約款「募集型企画旅行契約の部」によります。なお、当社約款は当社ウェブサイトよりご覧いただけます。

このパンフレット記載内容は2025年1月10日を基準としています。

## 別途諸費用 ※2025年1月10日現在の金額です

|           |         |
|-----------|---------|
| チップ合計     | 183,120 |
| ポートチャージ合計 | 77,000  |
| ビザ取得代金合計  | 25,375  |
| 国際観光旅客税   | 1,000   |

- 最少催行人員：600名
- 船中泊
- 日本人添乗員が同行します
- 食事：朝107回、昼107回、夕107回
- 医師、看護士が乗船します
- 使用客船：パシフィック・ワールド号（総トン数：77,441トン/全長：261.3メートル/全幅：32.25メートル/喫水：8.1メートル/乗客定員：2,419名/運航会社：シーホークコーポレーションリミテッド（英））

横浜発着 109日間 2025.8.19<sup>(火)</sup> - 12.5<sup>(金)</sup> 神戸発着 109日間 2025.8.20<sup>(水)</sup> - 12.6<sup>(土)</sup>



パシフィック・ワールド号でゆくピースポート地球一周の船旅

2025年8月 Voyage121

旅行企画・実施 株式会社ジャパングレイス

V121-D

PEACEBOAT CRUISE  
2025.8 Voyage121

FEATURES

## WORLD VOYAGE ISLAND HOPPING

P4-5 都市と自然が共存する島、アイランド

P6-7 世界を彩るリゾートアイランドをめぐる

## TIME TRAVEL

P8-9 伝説から始まるローマの歴史

P10-11 世界に散らばるローマを追いかけて

P12-13 ペルーに花開いたアンデス文明を訪ねて

OTHERS

P14-15 「世界のいま」を感じる 世界一周クルーズの旅  
全寄港地一覧

# WORLD VOYAGE ISLAND EXPLORATION

## 世界一周、島と島とをつなぐ旅

広い海にぽっかりと浮かぶ美しい島々。

シンガポール島のような都市型アイランドやハワイ諸島のようなリゾートアイランドなど、そこにはかけがえのない大自然や世界遺産の街並みに彩られた個性豊かな魅力が迎えてくれる、未体験の旅が待っています。地球上に散らばる美しい島々をめくりながら、それぞれの地で育まれた文化や食を一度の旅の中で堪能する体験は、世界一周クルーズだからこそその醍醐味です。

世界最北の首都を持つ自然豊かな島国・アイスランドでは、満天の星空にきらめく、気まぐれなオーロラを追いかけて船は進んでいきます。陽光きらめく地中海に浮かぶマルタ島が擁するのは、ハチミツ色の大理石で築かれた世界遺産の城塞都市。太平洋を南に進めば“南洋の楽園”と謳われるタヒチや、“絶海の孤島”イースター島へとたどり着きます。

さあ、島と島をつなぐ旅へと出かけましょう。

# WORLD VOYAGE × ISLAND HOPPING

## 都市と自然が共存する島

世界地図を広げると、そこには数え切れないほど多くの島が点在しています。  
今クルーズのハイライトでもあるオーロラ観測チャンスのある島国・アイスランドは  
人口わずか34万人の国ながら、エネルギー先進国として、  
また独自の社会システムや個性的な文化、美しい自然を有する国として、世界から注目されています。



## ICELAND アイスランド



### 全5回のオーロラチャンス

アイスランド沖、北緯70度付近にある「オーロラベルト」の中を航海する5日間は、毎晩オーロラ観測のチャンスです。



クルーズ船で観測するオーロラの良さは、その「臨場感」。オーロラの動きに合わせて、船の進路を変えていきます。周囲360°に明かりがなく真っ暗であることも観測のメリットです。

### 自然エネルギー大国

自然エネルギーだけで、自国すべての電力を賄い発電によってできた排熱などもうまく利用しています。中でも人気なのがブルーラグーン。地熱発電所が汲み上げた地下熱水を再利用した施設です。



### 地球の鼓動

アイスランドには「ギャオ」という地球の割れ目がいくつもあり、中でも「シンクヴェトリル国立公園」にあるものは、世界最大規模を誇ります。地熱によって温められた水が勢いよく噴出す間欠泉や幅約70m、落差30mの「黄金の滝」の意味を持つ「グトルフォスの滝」など、ダイナミックで美しい景色を見ることができます。



### 宇宙一美味しいホットドッグ

1937年から開店している有名なホットドッグ屋さん。クリントン元大統領が訪れたことも。



### 世界初のエコビレッジ「ソルヘイマル」

「ソルヘイマル (=太陽の村)」という名前の小さな村には、さまざまな障がいを持っている人々が住んでいます。住民は皆とてもアクティブ。さまざまな仕事に関わりながら、自然と人間に優しい村を一緒に作り上げています。



## 世界を彩るリゾートアイランドをめぐる

南洋の楽園に広がる豊かな時間



118もの島々からなる、南太平洋の島国タヒチ。ステイブンスンやポール・ゴーギャンなど名だたる作家や画家たちを魅了した島には、透明度の高い海や水量豊かな清流、咲き誇る熱帯の花々など、「南洋の楽園」というイメージそのままの雄大な自然が広がります。美しいビーチでのシュノーケリングや、深い緑が生い茂る島内の溪谷をめぐる自然体験ツアーはもちろんのこと、ただ海を見ながらゆったりと過ごすひとときも格別です。

### PAPEETE

パペーテ



#### 美しい黒真珠

艶やかな黒真珠は、タヒチならではの土産です。プランクトンが豊富で温暖な海は、黒真珠を宿す黒蝶貝の生育に最適な環境。まさにタヒチの豊かな自然が育んだ宝石です。



#### マオヒの文化体験も

「母なる大地と海に生きる人びと」という意味を持つ、タヒチの先住民「マオヒ」。彼らの伝統文化や価値観にふれるひときは、かけがえのない旅の思い出となるでしょう。

大自然に彩られた素顔のハワイと出会う



雄大な自然が織りなす美しい景観から「ガーデン・アイランド」と呼ばれるカウアイ島。この島の魅力は、手つかずの大自然と飾らないローカルな雰囲気にあります。なかでも、悠久の時が創り出した美しい稜線を描く山々や深い峡谷に彩られたワイメア渓谷はぜひ訪れたいスポットです。トレイルコースを歩き、展望台からの雄大な景観を目にすれば、作家のマーク・トゥウェインがここを「太平洋のグランドキャニオン」と称したことにも納得です。

### NAWILIWILI

ナウィリウィリ



#### 島のパワースポットへ

ナウィリウィリ近郊のワイルア川州立公園は、ハワイ諸島で最初に人びとが定住したといわれるエリア。川の途中には、かつて王族が結婚式を行った聖地「シダの洞窟」があります。



#### ローカルハワイの魅力

ゆったりと流れる時間や現地の人びとの笑顔もカウアイ島の魅力。リゾートとしてのハワイではない、飾らない日常のハワイと出会う体験は、この地をめぐる旅の醍醐味です。

世界有数のビーチリゾートに魅せられて



南太平洋を代表するリゾート地として知られるオアフ島の玄関口にして、ハワイ最大の都市でもあるホノルル。世界的に有名なワイキキビーチや、屈指のシュノーケリングスポットとして知られるハナウマ湾、現地の言葉で「天国の海」を意味するラニカイビーチへと足を運べば、美しい海が心ゆくまで楽しめます。また、ワイキキの海を一望できる火山の噴火口「ダイヤモンドヘッド」に登れば、この島の自然の豊かさとパワーが存分に感じられるでしょう。

### HONOLULU

ホノルル



#### ハワイの文化にふれる

色鮮やかな衣装に身を包み優雅に舞うフラは、日本でも馴染みの深いハワイ文化のひとつ。街中でもフラのショーやハワイアンミュージックの演奏が楽しめます。



#### ハワイアングルメ

ホノルルを訪れたら、新鮮な魚介を載せた「ボキ丼」やボリューム満点の「ロコモコ」などのハワイアンフードも楽しみ。ヘルシーで彩り豊かな「アサイーボウル」も人気の一品です。

青と白のコントラストがまばゆい絶景の島



数々のリゾート地を擁するエーゲ海においても、特に高い人気を誇る、三日月形のリゾートアイランド・サントリーニ島。この島の魅力はなんといっても、海と空の「青」と家々の「白」が織りなす得も言われぬ景観にあります。おしゃれなカフェやお土産屋さんに立ち寄りながら、目指すのは崖の上に築かれた街々。島の頂上部に位置するフィラの街に降り立つと、まるで絵はがきの世界の中に迷い込んだかのような絶景に包まれます。

### SANTORINI

サントリーニ島



#### ギリシャ料理

素材の旨みを引き出すシンプルな味付けが特徴のギリシャ料理。旬の野菜をフェタチーズとオリーブオイルでいただくグreekサラダは、ギリシャ料理を代表する一皿です。



#### 夕日

サントリーニ島の夕暮れは、その神秘的なまでの美しさから「世界一の夕日」と称されるほど。白い街並みがオレンジ色に染まっていく様子は、いつまでも記憶に残る景観です。

ハチミツ色に輝く文明の十字路



ヨーロッパ有数のリゾート地として知られる、地中海の中央に浮かぶ島国マルタ共和国。船の寄港するバレッタは、美しい街並みと数々の文明が交差する歴史的価値から世界遺産に登録されています。独特のハチミツ色をした、「マルタストーン」と呼ばれる石灰岩で築かれた街並みと、日差しを浴びてきらめく地中海が織りなす景観は、言葉にできないほどの美しさ。壮麗な旧市街へと船が入っていく、絶景の入港シーンにもご注目ください。

### MALTA

マルタ



#### 歴史ある街歩き

16世紀当時の姿をいまに残すバレッタの街。趣ある建造物の数々に彩られた旧市街を散策すれば、この街が時代を超えて受け継いできた歴史とロマンに包まれるでしょう。



#### マルタ料理

イタリアの食文化の影響を大きく受けながら、アラブ料理のエッセンスも色濃くマルタ料理。伝統的な食材であるウサギ肉を使った一品も、この地で楽しみたい味わいです。

紺碧の海に浮かぶ「絶海の孤島」へ



周囲2,000kmを海に囲まれたイースター島は、ビースポートクルーズでも屈指の人気を誇る寄港地のひとつです。この島の見どころは、あちこちにたずむ巨大なモアイ像。幅100mの祭壇に15体のモアイ像が並ぶアフ Tongariikiや、島にあるすべての像が切り出されたモアイ製造工場のラノラク、正座をしているモアイ像など、島に点在するミステリアスな巨像は訪れる人びとを魅了します。独特な色をした海的美しさもこの島の魅力です。

### EASTER ISLAND

イースター島



#### 鳥人伝説

この島には、頭は鳥、体は人間の創造神マケマケの「鳥人伝説」が残っています。絶海の孤島に暮らす人びとにとって、自由に飛ぶ鳥こそが神の力を宿すものと考えられていました。



#### お土産もモアイ像

イースター島の軽石に掘られたものから木彫り、石像やTシャツ、キーホルダーまで、さまざまな種類のモアイグッズが大人気です。旅の記念にぜひお楽しみください。



# TIME TRAVEL to ROME

## 伝説から始まるローマの歴史

紀元前からの歴史を誇るローマの中心部には、かつての栄華を物語る史跡の数々が今も息づいています。ローマ始まりの地とされる「パラティノの丘」には、ある伝承があります。それは、王家の血を引く捨て子の兄弟ロムルスとレムスが狼に育てられ、長じてからローマを建国したというもの。双子は、パラティノの丘にあった洞窟で育てられたとされています。丘の近くにあるカピトリニ美術館では、双子に授乳する狼の銅像を目にすることができます。

ローマ市内の一地域から始まった古代ローマの歴史。その栄華を雄弁に物語る遺跡の数々は、いつの時代も人びとを魅了してきました。数々の歴史を訪い古代ローマの足跡をたどる旅が今、はじまります。



### 真実の口

パラティノの丘を訪れたあとは、「真実の口」があるサンタ・マリア・イン・コスメディン教会へ。

## 古代ローマの中心地



フォロ・ロマーノは元老院や裁判所、公文書館などが集まる古代ローマの中枢でした。帝政下には、贅の限りを尽くした華やかな建造物が次々と築かれました。現在では一部の建物を除き基礎や壁面、石柱が残るのみですが、そこには古代ローマのエッセンスが凝縮されています。

## 大浴場は市民の憩いの場



古代ローマの浴場は、社交場の役割も果たす総合娯楽場でした。カラカラ帝によって建設された「カラカラ浴場」は、温浴室やサウナ、マッサージ室を完備し、図書室や劇場も併設されていました。壮大なスケールの遺跡を散策すれば、社交を楽しむ古代人の姿が浮かびます。

## ローマの外港を整備した皇帝



最盛期のローマ帝国を統治した「五賢帝」の一人で、帝国の領土を最大化したことで知られるトラヤヌス帝。ローマ市内には彼の名を冠した広場や、その戦果を描いた記念柱が残されています。船の着岸するチビタベッキア港も、トラヤヌス帝によって整備されました。

## スペクタクルに満ちた巨大闘技場



巨大円形闘技場コロッセオも、古代ローマを象徴する場所。「競技場」を意味するコロシアムの語源でもあるように、この場所では剣闘士や猛獣による闘いが繰り広げられました。4階層の観客席や猛獣を収容していた地下施設を歩けば、当時のスペクタクルが伝わってきます。

# 世界に散らばるローマを追いかけて

## TIME TRAVEL to ROME

東から西へ。船はスエズ運河を通航し、地中海を横切って大西洋へと向かいます。その旅路にはローマ遺跡の数々と、歴史に翻弄された領地の物語が残されています。これほどまでに広大な地域だった、古代ローマの夢を追体験するかのような、スベクトルな船旅です。

● ハドリアヌスの長城

● タラゴナの考古遺産群

● ティヴォリ

● アクロポリスの丘

● カッパドキア

● カルタゴ遺跡

● サファガ採掘場

PICKUP!

イギリス | ハドリアヌスの長城

北限の国境線

栄華を誇ったローマ帝国の北限を示すハドリアヌスの長城。屈強なケルト人の侵入を防ぐため、時の皇帝ハドリアヌスの命によって現在のイングランド北部に築かれました。

※クルーズ中に訪問することはできません

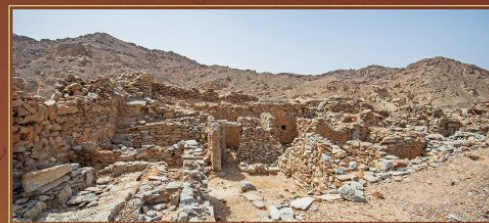


チュニス | カルタゴ遺跡

ローマとの覇権争いに敗れ陥落したカルタゴの街。現在はローマの都市計画によって造り変えられた街並みが、往時を偲ばせます。



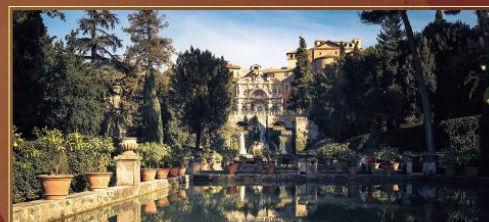
エジプト | サファガ採掘場 (モンズ・クラウディアス)



ローマ建築を支えた採石場

エジプトの東部砂漠にあるローマの採石場。花崗閃緑岩は1世紀から3世紀半ばまで約2世紀にわたり、ローマ帝国のために採掘され、建築材料として使用されました。

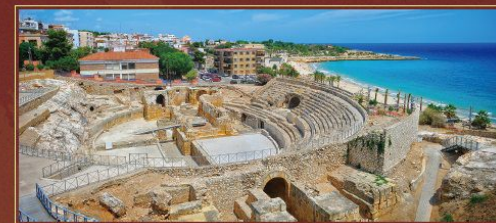
イタリア | ティヴォリ



イタリアで一番美しい噴水庭園

古くから皇帝や貴族に愛されてきた保養地ティヴォリ。約500年前にはイタリヤーと称される噴水庭園へ姿を変えますが、その美しい水の流れは時を超えて私たちを魅了します。

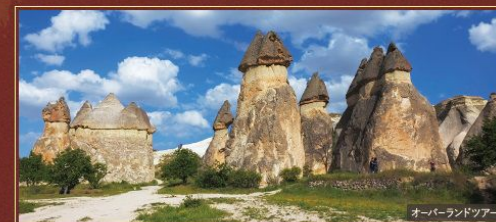
スペイン | タラゴナの考古遺産群



地中海有数のローマ植民都市

歴代のローマ皇帝が好んで在留する皇帝直属の都市となったことから、多くの建造物がこの地に建てられました。なかでも代表的なのは、地中海に望む海辺にある、1万4000人を収容するローマ円形闘技場。

トルコ | カッパドキア



世界に一つの奇観

火山の噴火により堆積した溶岩や灰が浸食されて築かれた奇岩群の広がるカッパドキア。キリスト教はローマ帝国から弾圧され、逃れた教徒たちはこの谷に隠れ住みました。

そして、古代ローマの源 ギリシャ・アテネへ

ギリシャ | アクロポリスの丘

文学・演劇・彫刻・言語・哲学・政治…あらゆる西欧文明の発祥の地、ギリシャ。クレタ・ミケーネの青銅器文明を経て、紀元前8世紀に誕生した都市国家（ポリス）アテナイで古代ギリシア文明は最盛期を迎えます。その象徴ともいえるのが、海拔約156mの石灰台地に築かれたアクロポリス。オリンポスの神々を祀った神域であり、同時に敵の侵入を防ぐ要塞としての役割を果たしていました。



アクロポリスの中央に建つ壮大なパルテノン神殿。白大理石の円柱は、中央部に膨らみのあるエンタシス技法で仕上げられ、四隅の柱はやや太く、わずかに内側に傾けられています。床面も中央を隆起させ、曲線を多用することによって究極の美を表現。かつては色鮮やかな彫刻で装飾されていたが、その多くは持ち去られ、現在は大英博物館で見ることができます。



アクロポリスの麓に広がるアテネの古い街並みが遺るプラカ地区。細く入り組んだ路地、小さな古い家々の風景は独特で、気ままに散歩するのが楽しいエリアです。美味しいタベルナ（レストラン）、人気のカフェバー、土産物店なども軒を連ねます。

# TIME TRAVEL to ANCIENT AMERICA

## ペルーに花開いたアンデス文明を訪ねて

現在のペルーを中心とする中央アンデス地帯には大規模な石造建築をもつ文明が存在しました。何層にも重なった歴史の下には、まだほとんど知られていない秘密が数多く眠っています。

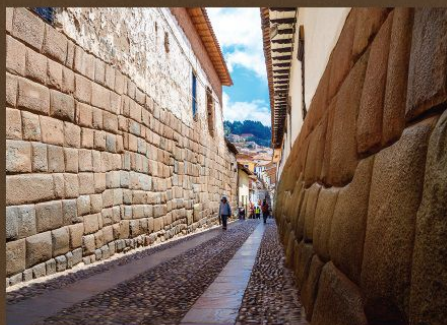
### ANDES

#### アンデス文明



#### インカ帝国の黄金郷クスコ

インカの言葉ケチュア語で「へそ」を意味する、インカ帝国時代の都クスコ。世界遺産にも登録されているこの街は、インカ帝国で神聖な動物とされた「ピューマ」を形どってつくられたとも言われ、ピューマの頭や心臓にあたる箇所にはインカ帝国にとって重要な建築物が配されています。



#### 12角の石

「アトゥン・ルミヨク通り」には、有名な「12角の石」を含む見事な石組みがあります。鉄がなかったとされる文明において作られた、「カミソリ1枚通さない」と称される精巧な石組みです。

#### ナスカの地上絵

荒涼としたナスカの大地には、古代人の描いた巨大な地上絵が刻まれています。複雑な砂の紋様は、誰がどのように記したのか？未だに神秘のペルーに包まれています。



#### 世界が目ペルー料理

ワールドトラベルアワードの「世界最優秀グルメ観光地」で4年連続の1位を取得するなど、伝統料理から名産品を活かした創作料理まで、幅広いメニューで人気を集めています。



#### 世界最古のフリーズドライ製法

穀類に対しジャガイモは腐ってしまいがちなことから、かつて「イモ」では高度な文明はつくれない」といわれていました。しかしアンデスの人びとは昼夜の寒暖差を利用し、ジャガイモをフリーズドライ状態にして蓄えました。こうした保存食化の成功も、文明が高度に発展した要因のひとつです。

### MACHU PICCHU

#### インカ帝国の最盛期を象徴するマチュピチュ遺跡



#### 空中都市マチュピチュ遺跡

南米・ペルーにおいて、人類の定住が始まったとされるのはおよそ紀元前3,000年頃。大小20以上の文化が各地で興り、アンデス文明と呼ばれる高度な文明が花開きました。そして先住民国家・インカ帝国時代に誕生したのが「マチュピチュ」です。今なお世界中の旅人を魅了するこの場所。鉄製の道具を使わずに石を切り出し滑車なしに積み上げる技術や、斜面で作物を栽培する工夫など、インカ帝国が登場する以前に栄えたさまざまな文明の智慧が凝縮されています。

#### マチュピチュ遺跡の見どころ



#### 巡礼地としてのマチュピチュ

各界の専門家による発掘調査や科学的な調査が進みながらも、未だ多くの謎に包まれているマチュピチュ遺跡。この地には神殿や祭壇だと思える痕跡も数多く残っており、インカ帝国における聖なる巡礼地だったのではないかと考える説もあります。

#### インカの高度な水利技術

遺跡には、山から引いた水が斜面を下っていくよう緻密に計算された水路が張りめぐらされています。山の斜面に沿って築かれた段々畑では、届けられた水を利用して作物を栽培していました。



#### PICK UP

#### オーバールランドツアー

#### ガラパゴス諸島 (エクアドル)



南米エクアドルから西へ約1000km、赤道直下に位置するガラパゴス諸島。世界にも類を見ない生態系が育まれた島々は、ユネスコ世界自然遺産の第1号にも登録されています。



ピースボートクルーズではこの地を訪れる度に、かつて人間が持ち込んだ外来植物によって破壊された生態系を取り戻そうと、島の固有種であるスカレンシアなどの苗木を現地の学生たちと共に植林しています。年月をかけ少しずつ植えられた苗木は、新たな原生林の森を作り始めています。

「世界のいま」を感じる 世界一周クルーズの旅 全寄港地一覧

**中国  
上海**  
レトロと近未来が同居するにぎやかな国際都市

**マルタ  
バレッタ**  
地中海の真ん中に浮かぶ美しい城塞都市

**アイスランド  
レイキャピク**  
コンパクトで可愛い世界最北の首都を歩く

**ペルー  
カヤオ**  
アンデス山中に隠された神秘的都市遺跡を目指して

**米国  
ホノルル [オアフ島]**  
豊かな時間のひろがる南洋のリゾートアイランド

**シンガポール**  
異国情緒に満ちた多民族シティの街並み

**チュニジア  
チュニス**  
多民族の歴史と伝統が交差するエスニックシティ

**米国  
ニューヨーク**  
全米一の大都市で楽しむ本場のエンターテインメント

**チリ  
イースター島**  
深い青色の水面をたたえる謎とロマンに彩られた島

**米国  
ナウイウィリ [カウアイ島]**  
手つかずの自然が残る島でパワースポットをめぐる

**インド  
コーチン**  
本場・南インドで食すスパイスの効いた味わい

**イタリア  
チビタベッキア**  
永遠の都ローマで魅惑のイタリア歴史散歩

**パナマ  
クリストバル**  
カリブ海と太平洋をつなぐ大運河とともにある町へ

**タヒチ  
パペーテ**  
南国の爽りと西洋の香りタヒチに花開いた食文化

**エジプト  
サファガ**  
生と死の交差する古代エジプト王朝の都へ

**フランス  
マルセイユ**  
南仏の名物グルメフィヤベースに舌鼓

**スペイン  
タラゴナ**  
数々の古代遺跡に彩られた「世界遺産指定都市」

**ギリシャ  
サントリーニ島**  
エーゲ海の恵みたっぷりのギリシャ料理を絶景の島で

**ボルトガル  
リスボン**  
情緒豊かな港町を彩る大航海時代の栄華にふれる

**ギリシャ  
ピレウス**  
古代ギリシャの栄華を象徴する聖なる丘へ

**イギリス  
リバプール**  
ビートルズも輩出した近代英国の海の玄関口



多様なニーズに合わせて選べる船室の数々

プライベート空間でも海を身近に感じられる、海側に面した船室を豊富に備えたパンフィック・ワールド号。旅の目的に合わせ、自由にお選びいただける船室設定です。



ご確認事項

- 天候や現地事情の影響により、入出港日時の変更や抜港になる場合がございます。
- 本船が沖合に停泊し、テンダーボートなどを使用して上陸する寄港地では、気象条件によっては上陸できないこともございます。
- この旅行は地球の遠隔地への航海であり、天災地変、政治状況の悪化、現地官憲の命令など、当社が関与し得ない事由が生じた場合、乗船客の安全を第一と考へ、また航海の安全を考慮し、お客様に事前に、あるいは緊急の場合は変更後にお知らせし、旅行日程、旅行サービスの内容を変更する場合がございます。
- 航海日程は船長や船会社の判断によっても変更される場合があります。
- 上記のような不可抗力による変更の場合でも、払い戻しは一切ございませんので、予めご了承ください。
- 本パンフレット記載の寄港地に関する案内文および写真の一部は、オーバーランドツアー含むオプションツアー（有料）に参加された場合にお楽しみいただける内容を含んでおります。
- オーバーランドツアーは寄港地で一時下船して別の港で再会流するツアーです。
- 本パンフレットに掲載の写真は、お客様にピースポートクルーズのイメージをお伝えするものであり、過去に使用した別の客船で撮影された写真も含んでおります。また、季節に関わりなく全て旅のイメージです。
- 横浜港乗船の方は神戸港にて、また神戸港乗船の方は横浜港にて一時下船ができません。
- ご自宅から集合・解散地等発着港までの交通費は含みません。
- オーローラは自然現象のため、気象条件などにより観測いただけない場合がございます。
- イースター島では原則自由行動はできません。後日ご案内するオプションツアーにご参加ください。

パンフィック・ワールド号でゆくピースポート地球一周の船旅  
2025年8月 Voyage121  
★ 初寄港  
横浜発着109日間 2025.8.19 (水)~12.5 (金) 神戸発着109日間 2025.8.20 (木)~12.6 (土)

| 日程      | 出航 | 午後 | 寄港地              |
|---------|----|----|------------------|
| 8.19 火  | 出航 | 午後 | 横浜               |
| 8.20 水  | 出航 | 午後 | 神戸               |
| 8.23 土  | 入港 | 朝  | 上海               |
| 8.23 土  | 出港 | 夜  | 中国               |
| 8.30 土  | 入港 | 朝  | シンガポール           |
| 8.30 土  | 出港 | 夜  | インド              |
| 9.4 木   | 入港 | 午後 | コーチン             |
| 9.4 木   | 出港 | 夜  | インド              |
| 9.13 土  | 入港 | 早朝 | サファガ             |
| 9.13 土  | 出港 | 午前 | エジプト             |
| 9.14 日  | 出港 | 午前 | エジプト             |
| スエズ運河通航 |    |    |                  |
| 9.15 月  | 入港 | 午後 | ポートサイド           |
| 9.15 月  | 出港 | 深夜 | エジプト             |
| 9.18 木  | 入港 | 午前 | サントリーニ島          |
| 9.18 木  | 出港 | 夜  | ギリシャ             |
| 9.19 金  | 入港 | 朝  | ピレウス             |
| 9.19 金  | 出港 | 夜  | ギリシャ             |
| 9.21 日  | 入港 | 午後 | バレッタ             |
| 9.21 日  | 出港 | 夜  | マルタ              |
| 9.22 月  | 入港 | 午前 | チュニス             |
| 9.22 月  | 出港 | 夜  | チュニジア            |
| 9.24 水  | 入港 | 朝  | チビタベッキア          |
| 9.24 水  | 出港 | 深夜 | イタリア             |
| 9.27 土  | 入港 | 朝  | マルセイユ            |
| 9.27 土  | 出港 | 夜  | フランス             |
| 9.28 日  | 入港 | 午後 | タラゴナ             |
| 9.28 日  | 出港 | 深夜 | スペイン             |
| 10.1 水  | 入港 | 朝  | リスボン             |
| 10.1 水  | 出港 | 夜  | ポルトガル            |
| 10.4 土  | 入港 | 午前 | リバプール            |
| 10.4 土  | 出港 | 夜  | 英国               |
| 10.6 月  | 出港 | 夜  | 英国               |
| 10.6 月  | 出港 | 夜  | 1 回目のオーローラチャンス   |
| 10.7 火  | 出港 | 夜  | 2 回目のオーローラチャンス   |
| 10.8 水  | 出港 | 夜  | 3 回目のオーローラチャンス   |
| 10.9 木  | 入港 | 朝  | レイキャピク           |
| 10.9 木  | 出港 | 夜  | アイスランド           |
| 10.9 木  | 出港 | 夜  | 4 回目のオーローラチャンス   |
| 10.10 金 | 出港 | 夜  | 5 回目のオーローラチャンス   |
| 10.16 木 | 入港 | 朝  | ニューヨーク           |
| 10.16 木 | 出港 | 深夜 | 米国               |
| 10.17 金 | 入港 | 朝  | クリストバル           |
| 10.17 金 | 出港 | 早朝 | パナマ              |
| 10.25 土 | 入港 | 朝  | パナマ              |
| 10.25 土 | 出港 | 早朝 | パナマ              |
| パナマ運河通航 |    |    |                  |
| 10.29 月 | 入港 | 午前 | カヤオ              |
| 10.29 月 | 出港 | 午後 | ペルー              |
| 10.30 火 | 入港 | 午後 | ペルー              |
| 10.31 水 | 入港 | 午後 | ペルー              |
| 10.31 水 | 出港 | 深夜 | ペルー              |
| 11.1 土  | 入港 | 朝  | イースター島           |
| 11.1 土  | 出港 | 夜  | チリ               |
| 11.7 金  | 入港 | 朝  | パペーテ             |
| 11.7 金  | 出港 | 夜  | タヒチ              |
| 11.16 日 | 入港 | 朝  | ホノルル [オアフ島]      |
| 11.16 日 | 出港 | 夜  | 米国               |
| 11.23 日 | 入港 | 朝  | ナウイウィリ [カウアイ島] * |
| 11.23 日 | 出港 | 夜  | 米国               |
| 11.24 月 | 入港 | 午後 | 横浜               |
| 11.24 月 | 出港 | 深夜 | 横浜               |
| 11.25 火 | 入港 | 午後 | 神戸               |
| 11.25 火 | 出港 | 深夜 | 神戸               |

※訪問地や航路は、天候や海の状況による船長判断、その他の理由により変更する場合があります。

|       |       |       |       |        |        |        |
|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|
| 0:00~ | 4:00~ | 6:00~ | 8:00~ | 12:00~ | 18:00~ | 23:00~ |
| 深夜    | 早朝    | 朝     | 午前    | 午後     | 夜      | 深夜     |